

家庭教育のチカラ 第2号



令和4年度筑西市家庭教育だより

令和4年7月15日発行

梅雨が終わり気温もぐんぐん上昇し、いよいよ夏本番といった陽気です。各学校とも子どもたちにとっては、待ちに待った夏休みが目前に迫ってきています。夏休みは子どもたちが家庭で過ごす時間が増え、家族との触れ合いも増えると思います。素敵な思い出をたくさんつくってほしいと思います。



夏休みを生かした体験学習を！

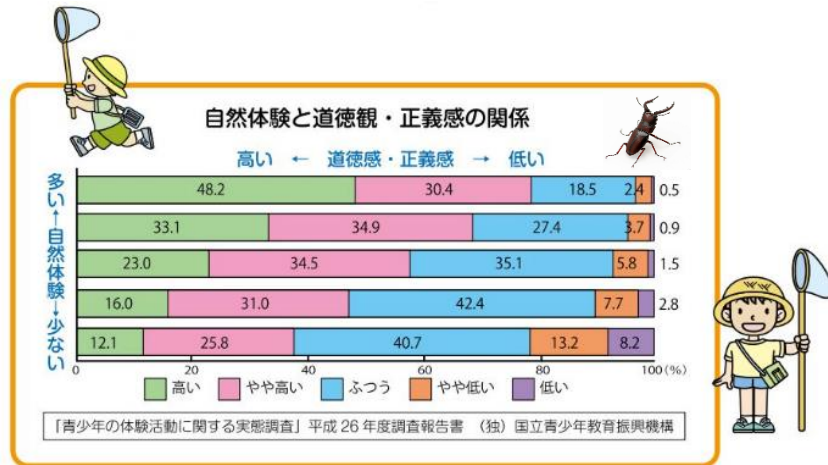
夏休みの良さは、家庭で長い時間すごせるところにあります。習い事や部活などもあると思いますが、学校に通う時間が無いため、時間的な余裕が生まれ、いつもとは違った事に挑戦するのには絶好の機会です。家族と一緒に過ごす時間も取りやすいため、お出かけなどのレジャーを計画している方も多いのではないのでしょうか？

遠くへ行かなくても筑西市内や近隣にもたくさんの自然体験施設があります。また、朝や夕方など時間帯を調整すれば、屋外での活動も可能です。朝早くの雑木林や水路などでは、普段見ない生き物や景色など新たな発見があるかもしれませんし、庭やベランダで調理をしたものはいつもより少しおいしく感じるかもしれません。長い休みを利用して、植物や昆虫などを育てたり、観察したりするのも良いでしょう。少しの工夫と手間さえかければ、家族で楽しめる体験活動ができると思います。子どもと一緒に過ごせる夏は、限りあるものです。子どもの心に残る夏休みをつくってあげたいものですね。

自然体験活動の効用

体験活動の代表的なものには、野外活動やキャンプなどの自然体験活動があります。最近では、ソロキャンプなど、大人の間でも人気が高まっています。

右図のように、自然体験の多い子どもには、道徳観・正義感があり、学習意欲・課題解決意欲の高い子の多いことが国の調査で明らかになっています。幼いうちから、自然観察や野外活動などの体験活動をしたり、博物館や水族館などでいろいろなものを見たり触れたりすることにより、日常では得られない発見や驚き、感動をとおして、豊かな感性を育み、他との共存の大切さや知的好奇心が高まります。



【お願い】

自然体験の際は安全面には十分配慮をお願いします。川や水路等は落下や溺れる危険が伴います。自然の動植物には、思わぬ危険も潜んでいます。子どもだけでの行動を避け、危険な場所での活動には必ず大人が同伴するように心がけてください。また、こまめな水分補給や帽子の着用など熱中症対策もしっかりと行いましょう。



茨城県のおすすめ体験施設について

茨城県教育委員会「茨城の生涯学習」のページでは、「子どもいきいき自然体験フィールド100選」として、自然体験活動が可能な施設の紹介をしています。筑西市では、里山五郎助山（ごろすけやま）や宮山ふるさとふれあい公園などが掲載されています。右のコードから家庭教育応援ナビを開き、子育てに役立つマンガ・動画・資料→下にスクロールすると体験フィールドの表示→クリックしてページへ。もしくは直接サイト名を入力して検索してください。



家庭教育応援ナビ

【お問い合わせ】

筑西市教育委員会生涯学習課（スピカビル3階）
家庭教育担当 山中・酒井

電話 0296-22-0182
メール shougak@city.chikusei.lg.jp